

特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議 Oct. 25 2021

養成課程における特別支援学校教諭免許状 関連科目の開設の現状と課題について

安藤 隆男



一般社団法人日本特殊教育学会における 特別支援学校教諭免許状等の在り方検討の経緯

- 2019年9月 一般社団法人日本特殊教育学会第57回学術大会（広島大学）
学会企画シンポジウム「インクルーシブ教育システム下における特別支援学校教諭免許状の在り方Ⅰ」
（2020年第58回大会（福岡教育大学）中間報告、2021年第59回大会（筑波大学）最終報告を実施）
- 2020年2月 一般社団法人日本特殊教育学会に「特別支援学校教諭免許状等在り方検討WG」の設置
- 2020年9月 WGに調査作業部会の立上げ
令和2年度文部科学省委託「特別支援教育に関する実践研究充実事業」(政策課題対応型調査研究)を担う
作業部会として、「特別支援学校教諭免許状等の在り方に関わる学術的調査研究」を企画実施
特別支援学校教諭免許状等の在り方を考究する基礎的資料をWGに提供することを目的とした。
- 2021年9月 WG「特別支援学校教諭免許状等の在り方検討WG報告書」の作成

< 話題提供 >

「特別支援学校教諭免許状等の在り方に関わる学術的調査研究」を基に 特別支援学校教諭免許状関連科目の開設の現状と課題

➤ 研究の目的

特別支援教育の質の確保を図るための特別支援学校教諭免許状の在り方を考究する基礎的資料を得る。

➤ 研究の構成

Ⅰ 予備的調査：教員養成大学・学部等のシラバスを対象に特別支援学校教諭免許状関連科目等の開設状況、教授内容分析

Ⅱ 本調査：一種免許状の課程認定大学・学部等に対する質問紙調査により特別支援学校教諭免許状関連科目の開設上の工夫、課題等

I 予備的調査

- **目的**：特別支援学校教諭免許状関連科目等の開設状況、教授内容分析
 - **対象**：10大学を選定（国立5校、公立1校、私立4校）
地域、設置者などを考慮してサンプリング
 - **分析**：特別支援学校教諭免許状関連科目の
 - ①開設状況（科目数、単位数、担当者）
 - ②教授内容（シラバスから抽出されたキーワード）
- 分析は、私を含めて研究者2名、大学院生1名の3名で実施

I 予備的調査

① 開設状況

		科目数	単位数	担当者	キーワード 総数	M	SD
第1欄	基礎理論	12	全て2単位	全て常勤	296	25	9.7
		知的 14(13)		2科目非常勤	237	18	7.9
	心理・生理・病理	肢体 10(6)		3科目非常勤	136	23	9.2
第2欄		病弱 10(7)	全て2単位	5科目非常勤	140	21	5.2
		知的 17		1科目非常勤	326	19	5.9
	教育課程及び指導法	肢体 12		2科目非常勤	270	23	6.3
		病弱 10(9)		4科目非常勤	223	25	7.4
		重複 10(9)	5科目2単位 5科目1単位	4科目非常勤	171	19	6.4
第3欄		LD等 8(17)	13科目2単位 5科目1単位	1科目非常勤	224	13	6.2
		重複・LD 1	2単位	常勤	17	-	-

* ()内はシラバス入手科目数

② 第一欄の教授内容

第一欄（基礎理論）の教授内容は3つのカテゴリーに分けて分析した。

- ①心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育の理念(**教育の理念**)、
- ②教育に関する歴史及び思想(**歴史・思想**)
- ③心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育に係る社会的、制度的又は経営的事項(**社会的・制度的・経営的事項**)

教育の理念(キーワード 計28)		歴史及び思想(キーワード 計38)	
特別支援教育	11	歴史	6
合理的配慮	3	戦前の障害のある子どもの教育	3
共生社会	2	養護学校義務制実施	3
インクルーシブ教育	2		

* 頻度の高いキーワード (数字はN)

I 予備的調査

② 第一欄の教授内容

カテゴリー③心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育に係る社会的、制度的又は経営的事項(**社会的・制度的・経営的事項**)について示す。

制度的事項(キーワード 計178)		社会的事項(キーワード 計44)		経営的事項(キーワード 計8)	
知的障害	6	教育・医療・保健・福祉の連携	3	特別支援学校の学校組織	2
特別支援学級	4	保育・療育	2	教員の役割	2
通級による指導	4	一般就労	2	理解と教育	2
教育課程	4	福祉就労	2		
特別支援学校の教育課程	4	地域での生活	2		
個別の指導計画	4	所得保障	2		
個別の教育支援計画	4	障害者年金	2		
発達障害	4	支援費制度	2		
キャリア教育・進路指導	4				

* 頻度の高いキーワード (数字はN)

② 第二欄の教授内容

➤ 心理・生理・病理に関する科目

知的障害/13科目(キーワード計237)		肢体不自由/6科目(キーワード計136)		病弱/7科目(キーワード計140)	
知的障害	12	肢体不自由・ 肢体不自由教育	6	病弱	6
ASD	9	脳性麻痺	6	腎・泌尿器疾患	6
発達障害	6	運動の発達	4	アレルギー疾患	5
定義	5	筋ジストロフィー	4	教育・医療・保健・福祉 の連携	4
ADHD	5	二分脊椎	4	循環器疾患	4
				内分泌疾患	4

* 頻度の高いキーワード (数字はN)

② 第二欄の教授内容

➤ 教育課程及び指導法に関する科目

知的障害/17科目(キーワード計326)		肢体不自由/12科目(キーワード計270)		病弱/9科目(キーワード計223)	
知的障害	12	肢体不自由・肢体不自由教育	12	病弱	9
個別の指導計画	11	自立活動	8	特別支援学校(病弱)	7
個別の教育支援計画	9	歴史	8	医療的ケア	6
各教科等を合わせた指導	9	教育課程	7	歴史	5
生活単元学習	9	教科の指導・学習	7	教育・医療・保健・福祉の連携	5
				院内学級	5

* 頻度の高いキーワード (数字はN)

② 第三欄の教授内容

重複障害/9科目(キーワード計171)		LD等/17科目(キーワード計224)	
重複障害	9	ADHD	14
医療的ケア	5	学習障害	13
歴史	4	ASD	13
教育課程	4	発達障害	12
定義	3	定義	4
重度・重複障害の教育	3	認知特性	4
		情緒障害	4

* 頻度の高いキーワード (数字はN)

Ⅱ 本調査

- **目的**：特別支援学校教諭免許状関連科目の開設上の工夫、課題等
- **対象**：一種免許状の課程認定を受ける大学・学部学科等163(令和2年度)
- **回収率**：86大学等から回答が得られ、回収率は52.8%であった。
- **報告内容**

学科等の基本情報

特支免取得に関わる基本情報

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項

小学校等の免許取得に係る「特別の支援を必要とする児童等の理解に関する科目」

学科等の基本情報

■ 回答者：

学科等の長・主任36人(41.9%)、カリキュラム担当28人(32.6%)、
その他22人(25.6%)

■ 認定を受けた免許状の種類：

視覚障害6(7.0%)、聴覚障害11(12.8%)、知的障害86(100.0%)、
肢体不自由83(96.5%)、病弱80(93.0%)

■ 特支免科目担当者の平均（SD）：

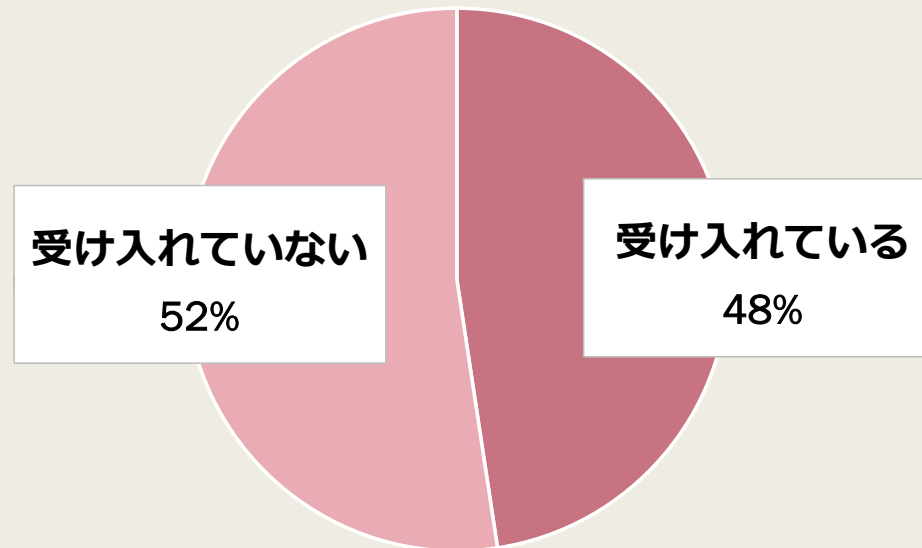
専任教員4.24人(0.99)、兼任教員0.49人(5.03)、兼担教員5.06人(6.23)

特支免取得に関わる基本情報 1

- **学生定員の数**：1 学年当たり平均94.9人($SD=96.77$)
- 認定を受けた特支免の全種類の取得を**卒業要件**としているか：
卒業要件33(38.8%)、卒業要件ではない52(61.2%)、不明 1
- **基礎免許状取得**に関する学生へのガイダンス：
「小学校免許の取得」 34(39.5%)、
「中学校、高校の免許の取得」 15(17.4%)、
「基本的には小学校免許(中学校免許)の取得をしたうえで、可能なところで中学校(小学校)等の免許の取得」 21(24.4%)、
その他19(22.1%)

特支免取得に関わる基本情報 2-1

- 特別支援学校教諭免許状取得における学科等以外の学生受入れ状況



- 受け入れている場合の1学年当たりの学生数は平均19.85人(SD=21.26)

特支免取得に関わる基本情報 2-2

受入れていない場合の理由

「教育実習先の確保がむずかしい」17(39.5%)

「免許関連科目の受講者数の適正化」11(25.6%)

「教育実習の事前、事後の指導が丁寧に行えない」7(16.3%)

「その他」19(44.2%)

→「学科として受けている課程認定の要件にはないので受入れられません」

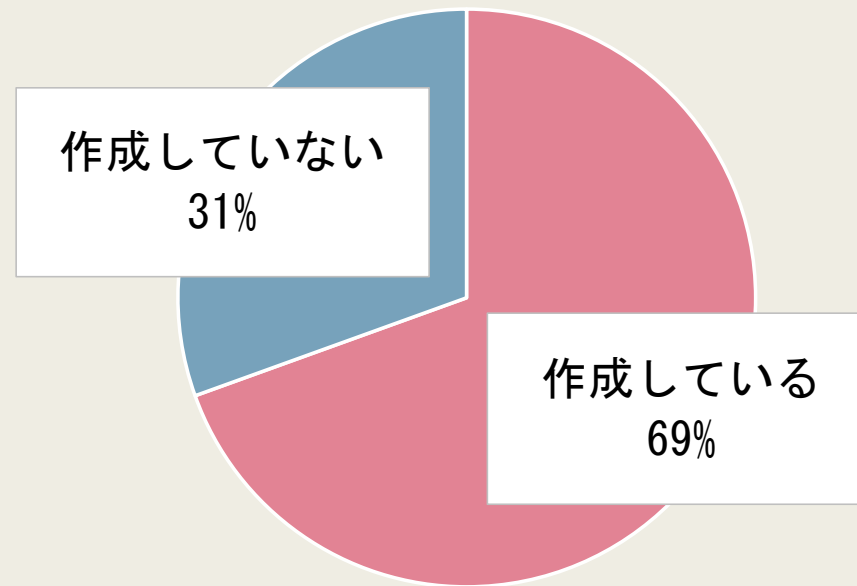
「今まで特に希望がなかったため」

「取得単位数が増え、学生の負担が大きくなりすぎるため」

Ⅱ 本調査 結果

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項 1－1

- 例えばカリキュラム・マップなど開設科目群の構造や系統性の具体化



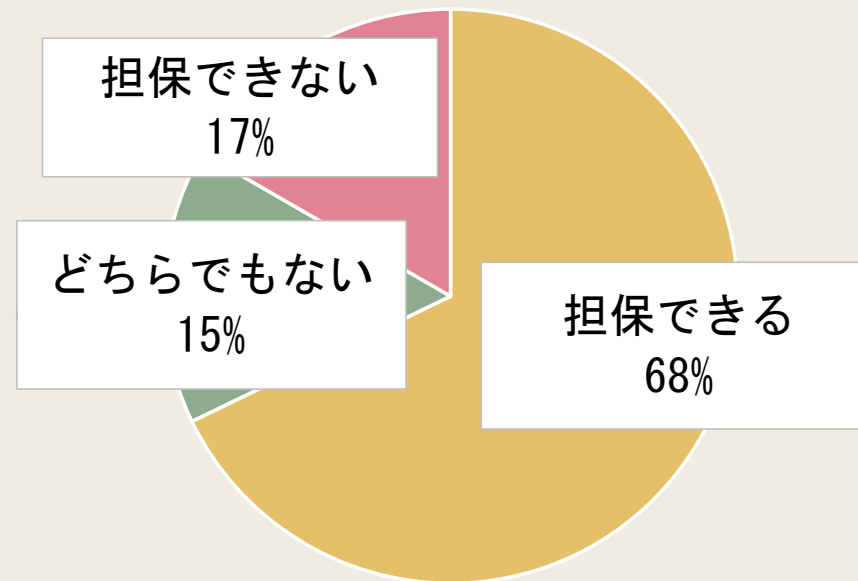
学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項 1-2

具体的な作成例

「教員養成課程に係るカリキュラムマップ及びカリキュラムツリーを作成している」
「ディプロマポリシー、カリキュラムマップ、カリキュラムツリーの作成」
「科目全てにナンバリングし、カリキュラム・マップとして「履修の手引き」に提示」
「履修系統図を作成、HPに公開している」
「学生個人にポートフォリオファイルを持たせ、希望する免許取得に向け随時担任教員による指導を行なっている」

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項 2-1

- 養成したい教員像は、教育職員免許法等で規定された特別支援学校教諭一種免許状の単位数の修得で担保できるか



学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項

2-2

「担保できない」理由

「特支免許の基盤となる子どもの理解の力は学科の指導科目群で養われるものと考えられるため」

「社会福祉学科に設置された課程のため「福祉」に関する理解も大事にしているが、免許法科目のみでは対応できておりません」

「現在的一种免許状の仕組みは、免許状変更(旧免許→新免許)及び特別支援教育への転換の中である意味暫定的なものと捉えており、免許状の単位は最低限のものと考えている」

「特別支援教育に求められる専門性と、学校種別ごとの免許に基づく教員養成が必ずしも一致していない」 等

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項 2-3

「担保できない」ことへの対処

「特別支援学校でのインターンシップ、ボランティア養成講座への参加、公開研究授業への参加を推奨し、実践感覚を補うことを意識している。ただし、自由意志での参加のため、効果のほどは不明」

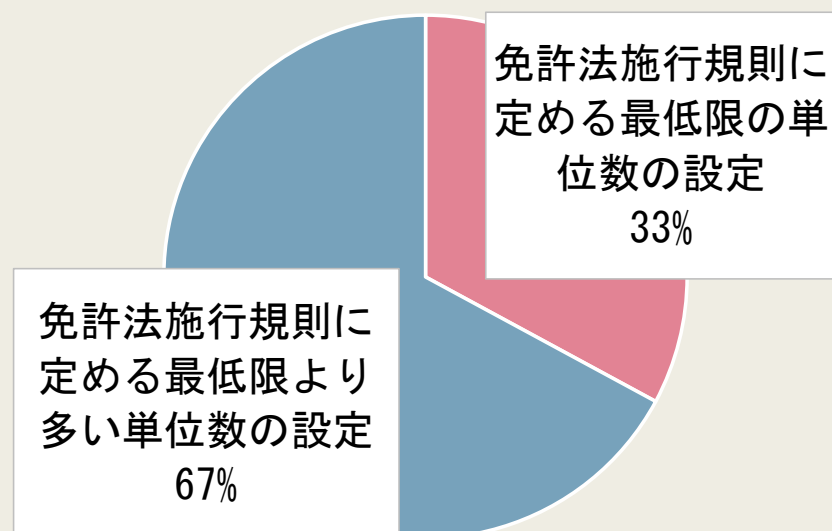
「課程認定以外の特別支援教育関連科目を多くおいています」

「教育実習前に特別支援学校において、一定期間のボランティア体験(インターンシップ)を必修としている」

「必修外の授業を用意し、自分の専門が明確になるようピーク制を採用している」 等

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項3

■ 特別支援学校教諭免許状第二欄における科目の必修単位数の設定



開設科目単位数の平均 (単位)

知的障害	7.13
肢体不自由	4.55
病弱	4.07
視覚障害	0.73
聴覚障害	1.07

Ⅱ 本調査 結果

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項4

■ 特別支援学校教諭免許状第三欄における発達障害科目の取扱い

扱っている：82(98.8%) →平均 2.53単位($SD=1.20$)

扱っていない：1(1.2%)

主な内容：

「LD・ADHD・ASD」「発達障害の総合的内容」

「障害の特性や指導法など」

「発達障害全般にわたる教育から心理・生理・病理まで」

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項5

■ 特別支援学校教諭免許状関連科目の開設上の課題について

	N	%
学科等における多様な専門領域の教員の確保	55	64.0
特定領域を専門とする非常勤講師の確保の困難さ	49	57.0
学科等の専任教員が専門外の授業を担当する負担感	26	30.2
予算削減に伴う非常勤講師の確保の困難さ	26	30.2
その他	8	9.3
「教育実習校の確保」「退職教員のポストの不補充」 「地域的に医学領域専門の講師確保が困難」		

Ⅱ 本調査 結果

学科等における教員養成の理念等及び特支免開設科目に関する事項6

■ 特別支援学校教諭免許状関連科目の編成上の課題について

	<i>N</i>	<i>%</i>
時間割編成上、学内共通科目などとの調整の困難さ	50	58.1
開設科目の履修における順序性を確保することの困難さ	32	37.2
その他	13	15.1

「今年度はコロナ禍もあり、全体として集中講義が増えると、その日程調整が難しくなる」
「学科科目との調整のため新規科目の開設が困難である」「非常勤の先生の科目の配置」等